

# スポーツ かわさき

No. 27



川崎市体育協会

## 「スポーツ諸施設の拡充整備を図る」

川崎市市長高橋清会長語る。平成2年度第2回川崎市体育協会総会開かれる

川崎市体育協会第2回総会が、去る平成2年12月7日に銀座アスター川崎賓館において開催され、5月の第1回総会以降の事業報告、体育協会法人化に向けての加盟団体の資金計画等が審議されました。

「“健康都市・川崎”を目指し、体育施設の拡充を図る」  
…高橋清会長(川崎市市長)語る  
総会の挨拶の中で、高橋清会長は、「高齢化社会を迎えつつある川崎において、健康問題が大事な課題となっています。寝たきり老人を作らないためにも普段からスポーツをして、体を鍛え生活を楽しむことが大切です。そのためには、川崎市における体育施設のいっそうの充実を図っていくことが必要です。みなさんのご指導・ご支援をお願いします。

具体的には、中原区等々力に総合体育館を98神奈川国体に向けて、練習にも間に合うように平成5年度までには完成させる予定です。観客席8000ぐらいの規模の立派なものになるでしょう。これが完成した後、富士見公園内の市民体育館を全面改築していきたい。また数万人収容できる規模の全天候型の運動場の構想も用意しているところです。それ以外の体育施設についても種目別で不自由しないように整備していきたいと思います。また、地域に根ざしたスポーツをという観点から、敷地の問題等困難な問題はあるものの各区に体育館を建設していきたいと考えています。等々力の陸上競技場を国際競技ができるような資格を満たした施設に改修する構想も持っています。」と将来に向けての抱負を語りました。

市体育協会法人化に向けて

各加盟団体の資金計画出揃う

総会は、日野原守理事長の司会で議事が進行され、まず、吉田敏郎事務局長から平成2年度事業経過報告が行われました。内容は、①5月以降の各種大会の実施状況(本誌26号で結果掲載)



総会で挨拶をする高橋清会長

②各種スポーツ教室等実施状況③各種体育大会派遣事業④広報活動⑤今後の予定⑥平成2年度賛助会費納入状況等でした。特に賛助会員の拡大を図っていくことが強調されました。⑦その他として川崎市医療品等ソ連緊急協力市民委員会の加盟団体に市体協も加わっているのが加盟団体の協力を要請すること、および、ゲートボール連合の市体協への加盟申請が出ているので平成3年5月の総会に諮るという報告がありました。

引き続き、協議に入り、中心議題であった「川崎市体育協会法人化に向けての加盟団体の資金計画」の審議に入りました。各種目団体から提示された納入予定額・調達方法・目標額等についての計画案が一括審議の末、満場一致で採択され、いよいよ懸案の「法人化」が実質的にすすめられる段階にはいりました。

この後、懇談会に移り、参加者の交流・親睦を深めました。

なお、来賓として川崎市教育委員会社会教育部長市村精助氏をお迎えしました。



## 第45回都市対抗駅伝 川崎は8位 伝統川崎の再建に向けて氏家監督に聞く

県下恒例の第45回都市対抗駅伝競走大会は去る2月10日(日)、小田原-相模湖間(9区間71.1キロ)に26郡市が参加して行われたが、川崎は、屈辱の8位と大幅に順位を下げた。

過去17回優勝という伝統川崎は、ここ4年間横浜に連覇を許していたものの、常に2位から4位をキープしていた。しかし、今回は進境著しい秦野、平塚、綾瀬、厚木、海老名、相模原に破れてしまった。

今回の大会を振り返りながら、伝統川崎の立て直しに向けてスタートした氏家監督(生田東高校教員)に再建策を伺った。

—ズバリ、今回の結果については、  
「タイム的には、昨年3位の時と1分遅いわけだが、川崎が昨年と同じタイムでゴールしても今年は7位がやっとということ、他郡市のレベルがアップしてきたということだと思ふ。

また、昨年は、大ブレーキを起こしたチームが出たため、川崎が3位に食い込んだという面もあった。それを実力と思い込んでしまったところもあったかもしれない」

—昨年と較べて戦力的には、  
「やはり、長丁場を予定していた選手が故障で起用できなかったのが痛かった。これは、心理的にも他の選手への負担が大きかったのではないかと思う。

また、今回のチームは選手個々では、昨年を上回っていたが、核となる選手がいないので、スタートがポイントだったが、この出遅れをカバーできず、上位と大きな差となった。」

—来年に向けた再建策のポイントは、  
「駅伝は前半がポイントである。そのためには、8区の長丁場を任せられる選手が必要になる。そのため、少なくとも毎月1回は合同練習をやり、レベルアップと、各選手の区間毎の適性を見極めていきたい。

また、これにより選手にはチームに対する自信と相互の信頼感が生まれ、心理的な面でのカバーリングができると思う。

立て直しの結果は、一朝一夕には出ないかもしれないが、川崎市や体協、陸協など関係機関、また各企業、高校の関係者の理解と協力を是非お願いしたい」  
(取材 広報委員)

### 国民体育大会冬季大会 川崎市から県選手団へ29名

第46回国民体育大会冬季大会はスケート・アイスホッケー競技が1月の27日から30日にかけて軽井沢で、スキー競技は2月17日から20日まで新潟県の六日町で開催されました。県選手団の結団式はスケート競技が1月22日、スキー競技は2月12日に行われました。川崎市からの参加選手は次の通りです。

#### スケート・アイスホッケー競技

スピードスケート	住岡 靖志・齋藤 香苗
フィギアスケート	三浦 晴通・土屋 歩
アイスホッケー	森 明弘・源波 秀樹
	小林 大・藤倉 裕康
	古谷 雅行・中村 史郎
	中島 寛・藁沢 智之
	白石 光一

#### スキー競技

クロスカントリー	佐々木俊己・須藤 聡志
	小境 啓之・米山 克治
	山田 晶美
コンバインド	村井 延彦
ジャイアント	本間 勝利・小林 久志
スラローム	宮沢 謙・立岩 将浩
	浦島 秀明・大野 薫
	堀江美知子・堀内みゆき
	山田恵里子・及川 展枝

また国体入賞者は次の通りです。

- スピードスケート成女A 齋藤香苗3000m 5位
- フィギア 少男 三浦晴通・土屋歩 4位
- スキーコンバインド 成男1 村井延彦 5位
- // ジャイアントスラローム成女1 大野 薫 3位

# 生き生きさわやか市民マラソン

市民の間にすっかり定着してきた感のある第5回川崎市市民マラソン大会が、平成3年3月3日(日)、等々力陸上競技場を発着し、稲田中学校を折り返しとする20キロに536人、諏訪歩道橋付近を折り返す10キロに1428人の参加で行われました。

今回は、3・3・3で、しかも大安とあってか、北の風がやや強いものの気温11度、湿度40%と心うきうきするコンディションでした。そのためか、大会新記録も7個という素晴らしい大会となりました。

走り終わったランナーの皆さんに率直な感想をいくつか伺ってみました。

「沿線道路にたくさんの方がいて、応援してくれたのがとてもうれしかった」

「向かい風が強かったけど、走りやすいコースなので気持ち良く走れた」

「競技場をスタートし、またゴールするというコースは、とても気分がいい」

このように、どの顔にも走り切った満足感があふれていました。

また、このマラソン大会がよりよい大会となるよう、次のような要望もありました。

「市民マラソンではあるが、在住に動に限定しないで、誰でも出れるようにしたほうがよい」

「帰りに、アト3キロから表示があったが、住さも1キロごとの表示がほしい」

「スタートはゼッケン順ではなく、タイム順にすればもっとスタートしやすくなる」

「実業団などで活躍している川崎ゆかりの一流選手を招待してほしい。一緒に走るともっと楽しくなると思う」

さらに、現実的な意見として、

「前年度優勝者は招待選手にしてもらえるとよい」

「入賞者には賞品もほしい」

「TVKで録画放映してくれれば、もっと盛り上がると思う」

などがありました。

いずれにしても、皆さん

「次回(今年の11月開催予定)も絶対に走りたい」

ということでした。

このように、高校生から87歳のおじいちゃんまで、陸上競技を本格的にやっている選手からこの大会のために走り始めた人まで、それぞれの人が、それぞれの目的が、和やかに溶け合った多摩沿線道路のそれぞれの「ひなまつり」でした。

各種目の上位3位までの記録は次の通りです。

## ○20キロ35歳以下男子

- ①石井 徹治(市役所) 1:05:09新
- ②松本 光史(旭化成) 1:06:06
- ③吉川 勉(市役所) 1:07:28

## ○20キロ36歳から49歳男子

- ①小出 敏之(市役所) 1:08:35
- ②横尾和夫(ハートブレイク) 1:08:46
- ③柴田 孝(旭化成) 1:09:15

## ○20キロ50歳以上男子

- ①荒木 和男(市教育委) 1:10:58新
- ②弘本 圭右(東芝小向) 1:14:13
- ③松村 忠三(三菱自動車) 1:14:47

## ○20キロ女子

- ①湯本恵美子(東芝浜川崎) 1:27:04新
- ②丸山 博子(川崎教員) 1:29:38
- ③高橋母美子(麻生台RC) 1:30:08

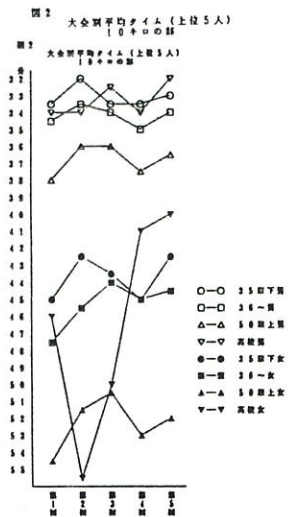
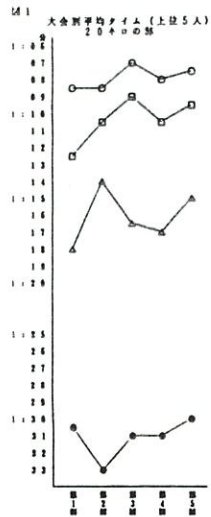
## ○10キロ高校男子

- ①上村 雅幸(法政二高) 31:48新
- ②吉田 裕介(多摩高) 31:57
- ③西本 直樹(法政二高) 32:03



- 10キロ 35歳以下男子
- ①堀 政美(富士通) 32:04
  - ②菅山 智幸(東芝堀川) 32:17
  - ③市川 隆広(六三精工) 32:28
- 10キロ 36歳から49歳男子
- ①稲本登志治(川尻鉄工) 33:05
  - ②星野 政信(市役所) 33:19
  - ③土屋 則夫(古市場走友会) 34:27
- 10キロ 50歳以上男子
- ①石井 秀夫(NKK) 33:14 新
  - ②細谷 進(東芝柳町) 36:22
  - ③井上 勝次(NKK) 37:40
- 10キロ 高校女子
- ①村上 朋子(生田東高) 38:24 新
  - ②米川 陽子(生田東高) 38:30 新
  - ③増子 明美(菅 高) 40:29
- 10キロ 35歳以下女子
- ①湯川 陽子(法政大学) 40:11
  - ②安藤 知美(NKK) 41:25
  - ③刀称早千重(富士通IC) 42:32
- 10キロ 36歳から49歳女子
- ①石川美恵子(多摩川クラブ) 41:43
  - ②三橋 君枝(麻生歓走会) 43:41
  - ③水島トヨコ(東京工大) 44:51
- 10キロ 50歳以上女子
- ①小林 裕子(諏訪金型) 49:52
  - ②湯尾 春子(健友会) 51:18
  - ③加藤 公子(新ゆり走遊会) 51:34

新は大会新記録



## スポーツの安全のために ストレッチング講座

## 第2回ストレッチングの目的

川崎市中原保健所長 野田 晴彦

### (1) 何のためのストレッチングなのか？

スポーツを楽しんだり、トレーニングに励んだりするときには、そこに何の目的もないということはありません。気分転換であっても、それは立派なスポーツの利用の仕方ですし、改めて「何のために？」と聞かれても、答えがとっさには出てきにくいだけのことです。チョモランマ(エベレスト)初登頂を成し遂げたヒラリー卿の言葉、「そこに山があるからです」は有名です。多くのスポーツでは、同じ答えをしても構わないのではないかと思います。ストレッチングでは、「そこに筋肉があるからだ」とだけ言っているわけにはいかないようです。その理由は、ストレッチングそのものは、身体の柔軟性を比べる競技ではなく(かなりグロテスクな競技ができそうですが)、他のスポーツ活動を行うときの柔軟性を保つ手段として行われるのが普通だからです。ストレッチングは目的がなくとも行えますが、目的もなくストレッチングを行うことは考えられないのです。

ストレッチングが目的とするところは、もちろん筋肉・関節・靭帯の柔軟性を保ったり、大きく

したりすることですが、後に行うスポーツによって、どんなストレッチングを行うかが変わってくるのは当然のことです。これは、ストレッチングそのものをリラックスや気分転換、健康づくりのための体操として行う場合でも同じことです。目的があるということは、「丁度良い」ところがある、つまり、目的にピッタリと合っていれば、そこが一番良いところであるということになります。

### (2) 危ないオーバーストレッチング

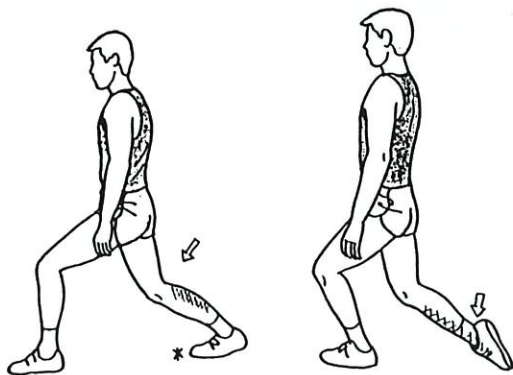
身体の柔軟性は、何となく、柔らかく曲がれば曲がるほどよいような錯覚をもったり、自分より柔軟性のある人を見ると羨ましく思ったりすることもあるようですが、実際は必要以上に身体が柔らかいことが、スポーツによっては大きなマイナスになることがあります。

足の膝を伸ばしたときに、真っ直ぐ(180°)を越えても膝が後ろへ入っていくような人は、水泳選手としては、水中でのキックが大きく行えるという、有利な条件をもっていることになりませんが、同じ人が地上でジョギングをすると、膝が安定しないために非常に大きな衝撃がかかり、す

### <図> 歩く・走る前の、脚のストレッチング

#### ↓①ふくらはぎとアキレス腱のストレッチング

\*つま先は、まっすぐ前に向けます

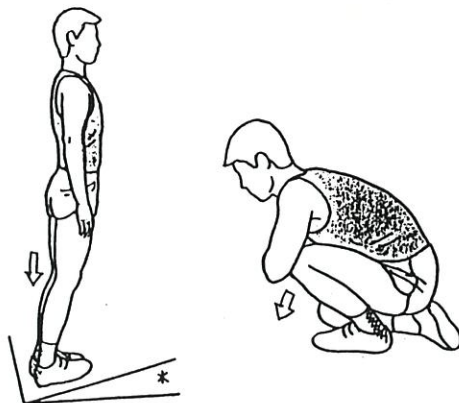


\* 体重を、加減しながら真下にかけます

#### ②足の甲と、すねの前側のストレッチング↑

#### ↓③アキレス腱のストレッチング(1)

\* 傾斜や、段差のあるところを利用します



\* 体重のかけ具合で調節します。

#### ④アキレス腱のストレッチング(2)↑



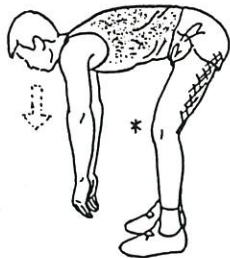
ぐに関節を痛めてしまいかねません。足首が柔らかすぎ、左右の方向に安定しない人でも同じです。柔軟性のある関節は、その両側についている筋肉もしっかりと支える力を備えている必要があるのです。また、フィギュアスケート・体操の女子選手などで、腰椎や股関節を大きく曲げ伸ばしする演技が原因と思われる痛みが後遺症として現れることもしばしばです。

ストレッチングは、だれにでも気軽に取り組み、大きな危険性の無いのが長所なのですが、一つだけ注意しておかなければならないのが、ストレッチングのやり過ぎ、即ちオーバーストレッチングになってはいけない点です。これには、2つの種類が考えられます。

1つめは、急にストレッチングを行おうとして、筋肉や靭帯を痛めてしまうものです。反動を使った柔軟体操ではよくあることですが、ストレッチングが安全だからといって、痛みを我慢したりして無理に伸ばせば、当然同じような結果を起こすことは当たり前です。柔軟性を付けることを急ぐ余り、反動は使わなくても、長い時間、大きな力をかけ続けることは避けなければいけません。なるべく早く柔軟性を付けたい人は、適度なストレッチングを毎日数回ずつ、継続して行うのが安全な近道です。1ヶ所だけにこだわらないで、順番に何ヶ所かを何度かずつ行うべきです。

↓⑤ふとももの前側のストレッチング

\*バランスの悪い時は、片手は何かにつかまる



\*上半身に力をいれず  
膝も、力を抜いて  
軽く曲げます

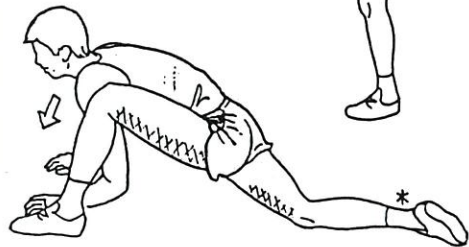
⑥背中・ふとももの裏側のストレッチング↑

2つめのは、慢性的なオーバーストレッチングです。ヨガの様々なポーズのように、いきなりはとでもできないものの、ストレッチングを重ねていくと、次第にできるようになっていくものは、目的を見失ってしまうと、「人より伸びればいい、人より曲がればいい」という、独りよがりの世界に陥る危険性があります。あくまでも、ストレッチングを始めた目的を忘れず、動きを伴うスポーツでは筋力をつけてしっかりと身体を支えられるようにし、静かにポーズを作るときには十分に緊張を解いてリラックスできることを、意識してください。

(3) ストレッチングの実用編

今回は、基本的な歩く・走る前の、脚を中心としたストレッチングを紹介します。<\*>印がワンポイントアドバイスになっています。

⑦おしりの筋肉の  
ストレッチング→  
\*仰向けの姿勢  
で行なうのも  
効果的です



\*足首は、曲げても伸ばしてもよい。

↑⑧股関節・ふとももの裏側のストレッチング

◎ストレッチングの参考書(毎回紹介します)

図解コーチ『ストレッチング』井街 悠著、成美堂出版スポーツシリーズ(92)、1988

文庫判の小さな本ながら、イラストは分かり易く、バリエーションも豊富で、実用的です。しかもわずかな文章の中に必要なことは全て記述されていて、参考文献まであり、理論と実践に強い著者の実力を現す1冊といえます。 ¥500

(イラストは、この本からの引用です)

# 市長杯団体対抗卓球大会

☆信号器材(株) 2年連続20回目の優勝!!  
☆橘中学(男子)6年連続優勝達成!!

第41回 川崎市長杯団体対抗卓球大会が去る3月3日、川崎市体育館に於て行われ、中学の部、高校の部、一般の部の各種目に熱戦が展開され、次の各チームが栄誉に輝きました。

成績

## ◎一般男子の部

- ・優勝 信号器材 ・準優勝 たくま会
- ・3位 松草クラブ、アイダクラブ

## ◎一般女子の部

- ・優勝 富士通 ・準優勝 池上クラブ
- ・3位 今井中、青葉クラブ

## ◎高校男子の部

- ・優勝 法政二高校・準優勝 百合丘高校
- ・3位 多摩高校、県川工業高校

## ◎高校女子の部

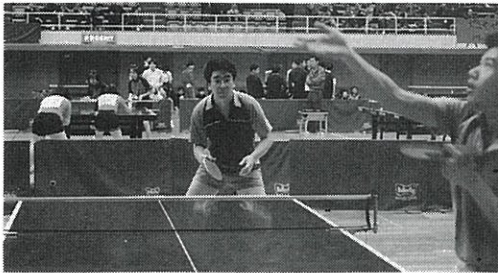
- ・優勝 大西学園高校・準優勝 高津高校
- ・3位 多摩高校

## ◎中学男子の部

- ・優勝 橘中学 ・準優勝 田島中学
- ・3位 稲田中学、長沢中学

## ◎中学女子の部

- ・優勝 橘中学 ・準優勝 田島中学
- ・3位 南加瀬中学、大西学園中学



## 平成2年度川崎市室内ハンドボール大会

2月10、11日 市立川崎高校体育館

### <一般男子>

1回戦

石栗クラブ	34 - 7	市川崎クラブ
法二クラブ	22 - 7	菅クラブ
新城クラブ	23 - 19	緑クラブ
川崎北クラブ	20 - 8	高津クラブ

2回戦

石栗クラブ	16 - 9	生田クラブ
法二クラブ	20 - 16	河田クラブ
多摩クラブ	20 - 14	新城クラブ
川崎北クラブ	不戦勝	柏葉クラブ

準決勝

石栗クラブ	不戦勝	法二クラブ
多摩クラブ	20 - 15	川崎北クラブ

決勝

石栗クラブ	20 - 15	多摩クラブ
-------	---------	-------

結果

優勝 石栗クラブ・準優勝 多摩クラブ  
第3位 川崎北クラブ、法二クラブ

## 川崎市“ちびっ子”ハンドボール交歓会

川崎市ハンドボール協会では、2月11日に市内に結成されている小学生によるハンドボールチーム(当日男子4、女子3チームが参加)を一堂に結集して、市立川崎高校体育館で交歓会を開催しました。

隣接の地域にまだチームがないので、なかなか試合の機会に恵まれないせいもあって、初めての対戦チームでこどもたちも日頃の練習の成果をと張り切って、精一杯プレーが出来て楽しそうでした。

試合結果

### <男子>

優勝	東村山市立野火止小学校ハンドクラブ
2位	武蔵クラブ(中原区)
3位	真福寺小学校ハンドクラブ(麻生区)
4位	梶ヶ谷小学校ハンドクラブ(高津区)

### <女子>

優勝	大戸Aチーム(中原区)
2位	大戸Bチーム(中原区)
3位	多摩HBC(東京多摩市)





## 第24回バスケットボール 日本リーグ川崎大会

平成2年度第24回バスケットボール日本リーグが川崎市体育館を会場として、平成3年2月2日(土)午後開催された。試合は女子2部富士通対ユニチカ、男子1部NKK対日本鉱業の2試合が行われたが、地元チームの出場と、バスケットボールの我が国最高のレベルの試合ということで、会社ぐるみの応援や地元ファンの声援で、場内満席の状況、市体育館内は熱気に包まれた。

試合はユニチカとNKKが勝利に輝いたが、ファン投票によるミスターバスケットとして、NKK、陸川章選手が選出された。この大会の開催に当たり、地元バスケットボール協会は役員総動員で大会運営を行い、盛会裡に終わった。



## 第22回全国実業団 バレーボールリーグ川崎大会

平成3年2月9日(土)、10日(日)の2日間、市体育館において第22回全国実業団バレーボールリーグ川崎大会が開催された。日本リーグ入りを狙う男子4チームの強豪が川崎に集結し、総当りの試合で、実力伯仲の熱戦が展開され、観客の興奮をさそった。対戦は第1日NTT東海対コスモ石油、NKK対旭化成、第2日旭化成対NKK東海、NKK対コスモ石油で、地元NKKの名門復活を期待してファンの出足も良く、両日とも満席の状態であった。バレーボールの最高の技術・プレーを目のあたりにし、観客も満足したようであった。

## 第15回記念やまゆり杯小田急旗杯争奪 県家庭婦人バレーボール大会 川崎地区大会終わる

平成2年度最後を飾るやまゆり杯が、平成2年11月から平成3年3月までの長期間にわたり、県内各地で展開された。川崎地区では、96チームの参加で、11月11日～25日の間各支部毎に第一次予選会を行い、敗者戦を含めて26チームが予選落ち、70チームが第二次予選トーナメントに出場した。二次予選は2年12月9日、35チームずつに分かれて市立川崎高体育館・市立橘高体育館で、熱戦がくり広げられた。シードチームのベスト8進出が4チーム、ノーシードのチームが4チームと云う結果となったが、ベスト8のチームは宮崎小ひたち、むつき、王禅寺、観音ウィング、グリーンプラザ、平成クラブ、古川町であった。

3年2月17日市立川崎高体育館において、TVKの録画中継のもと、県大会出場のをかけて、準々決勝、準決勝、決勝が行われた。

準々決勝

① 宮崎小 2{21-16}0ひたち 王禅寺 2{16-21}0むつき  
② 王禅寺クラブ 2{21-10}0ひたち

③ 観音ウィング 2{21-19}0グリーン 古川町 2{21-15}0平成  
④ グリーン プラザ チーム 2{21-19}0クラブ  
準決勝

① 王禅寺クラブ 2{21-10}0宮崎小 古川町 2{21-11}0観音  
② 王禅寺クラブ 2{21-15}0宮崎小 古川町 チーム 2{15-21}1ウィング  
決勝  
王禅寺クラブ 2{12-21}1古川町チーム  
21-16

この結果、王禅寺クラブが4度目の川崎地区代表となったが、3月2日、県大会で相模原翼と対戦、残念ながら惜敗した。

## 平成2年度川口市交歓スポーツ大会 軟式庭球の部

川口市交歓スポーツ大会本年度最後の軟式庭球の部は、コート・スケジュールの都合から平成3年2月24日(日)川口市芝スポーツセンターでコート3面使用、双方12組の出場で行われた。

結果は川崎市3勝、川口市9勝に終わった。



## 市民の山歩き活動 ますます盛ん

ハイキングクラブ、高津にも誕生！

大自然の中を歩くことによって、生きる喜びと健康を分かち合おうと、市民のハイキング活動は年々盛んになっていますが、そんな状況をうけて市の成人学校では課目に「山歩き教室」を採り上げる市民館が広がっています。

川崎市山岳協会では20数年前から「市民登山教室」を毎年定期的に開いて、市民の間に好評を博していますが、これとは別に、中原市民館や麻生市民館、また幸市民館、多摩市民館等でも数年前からそれぞれに「少年山登り教室」や「中高年のための山歩き入門教室」等を開催しています。昨年9月から11月にかけては高津市民館で成人学校「働き盛りのための山歩き入門教室」が開かれました。

これらの教室を卒業した受講生達は、その後それぞれに、自主的・継続的に活動することを目指して、市内各地にハイキングクラブを続々と誕生させております。川崎市民ハイキングクラブ・中原山歩会・麻生ハイキングクラブ・高津ハイキングクラブ等がそれで、共に活発な活動を続けています。最初は20名くらいの小グループであったものが、いずれも今では40～80名ほどのクラブに成長し、事故のない、明るい楽しいハイキンググループとして、月に1～2回の山歩きを楽しんでいます。同好の市民の方がいられましたら、入会申込みをされて仲間になられたらいかがでしょう。それぞれ下記にお問い合わせ下さい。

### ◆川崎市民ハイキングクラブ

中原区下小田中1642 田中伸雄様方☎788-3104

### ◆中原山歩会

中原区今井南町263-6 ハカリ 量久子様方☎722-5562

### ◆高津ハイキングクラブ

高津区末長1071 長久保隆雄様方☎877-2489

### ◆麻生ハイキングクラブ

麻生区千代丘1-5-26 吉田靖子様方☎954-4452

### ◆川崎市山岳協会連絡所

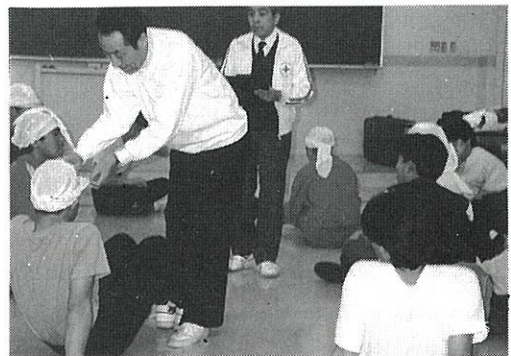
川崎区榎町7-3-901 左澤重明様方☎233-5665



## スポーツ事故の防止を目指して 赤十字救急法講習会

### 今年も満員の受講者で開催

川崎市体育協会では、昭和52年度から毎年春、定期的に日本赤十字社の救急法正規講習会を開いて、スポーツ事故の防止に貢献していますが、今年もまた去る3月24日から31日までの日程で同講習会を開催しました。受講者は各種目スポーツ団体の指導者をはじめとして、学生・企業関係者から一般主婦まで多様ですが、参加申込者は年々増える一方です。



スポーツ事故をいかにして未然に防ぐか、また万が一事故が発生した場合どう対応するか、その応急処置の仕方等を、学科と実技を交じえ、34時間の講習を頑張って受けている受講生の姿は真剣そのものです。事故防止への関心の深さは、明日の川崎のスポーツ・体育界への明るい希望を物語るかのようにも見受けられます。講習を修了した方々によって作られている川崎体育救護クラブの市民マラソン大会等における救護活動も、市民の皆さんの眼に入っていることと思います。



## 第42回県総体、4位(スキー競技会)でスタート!

平成3年3月2日～3日、長野・野辺山ハイランドスキー場で開催された、県総体冬季大会スキー競技会で本市は4位と、昨年より1つ順位を上げ、好スタートを切った。これから開催される夏季競技会(水泳、軟式庭球など)、秋季競技会(陸上競技、バレーボール、サッカー、卓球、剣道など)に向けて大いに期待が持てるものと思われる。おもな成績は次の通りである。

距離・壮年B ③宮野 秀和 4' 46" 7

// ・壮年A ②高橋 文三 4' 48" 1

距離・成年 ②高橋 清光 9' 16" 4

// ・継走 ②高橋・高橋・辻 14' 09" 5



## 第42回神奈川県総合体育大会日程一覧表

競技名	第 1 日		第 2 日	
	期 日	会 場	期 日	会 場
夏 ソフトボール 競技	8月11日(日)	大和山下福田野球場	8月18日(日)	大和市引地台野球場
		// 引地台野球場		
		// つきみ野公園野球場		
季 軟式庭球 競技			8月18日(日)	平塚市軟式庭球場
水泳 競技			8月18日(日)	県立体育センター
陸上 競技			9月29日(日)	県立体育センター
秋 バレーボール 競技	9月22日(日)	藤沢市秋葉台スポーツセンター (一般男子)	9月29日(日)	県立体育センター (一般男女)
		県立体育センター (一般女子)		県立県央地区体育センター (青年男) 県立西湘地区体育センター (青年女)
軟式野球 競技	9月22日(日)	県立相模原球場 大和市引地台野球場 茅ヶ崎市営球場 厚木市玉川球場 座間市市民球場	9月29日(日)	県立相模原球場 茅ヶ崎市営球場
サッカー 競技	9月22日(日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台スポーツセンター	9月29日(日)	県立体育センター
卓球 競技			9月29日(日)	藤沢市秩父宮記念体育館
季 バスケットボール 競技	9月22日(日)	平塚市見附台体育館 (一般)	9月29日(日)	平塚市見附台体育館 (一般・青年)
		大和市スポーツセンター (青年)		
柔道 競技			9月29日(日)	県立武道館
剣道 競技			9月29日(日)	県立武道館
弓道 競技			9月29日(日)	県立武道館
バドミントン 競技	9月22日(日)	相模原市総合体育館	9月29日(日)	相模原市総合体育館
クレー射撃 競技			9月15日(日)	県立伊勢原射撃場

第33回川崎市実業団対抗スキー大会

悪天候にめげず健闘!

参加者  
212名を  
数える

第43回川崎市民スキー大会ならびに第33回川崎市実業団対抗スキー大会が去る平成3年2月15日から17日にかけて福島県南会津郡館岩村の会津高原たかつえスキー場で開催されました。

競技種目は、市民大会は大回転のみ、実業団対抗は大回転ならびに回転・クロスカントリー・リレーの4種目。共に日頃の練習の成果を十二分に発揮…といたいところですが、実は3日間とも降雪続きの悪天候、ことに最終日はまさに猛吹雪となり、厳しい状況となってしまいました。

当日は地元の館岩村の村民スキー大会も同会場で実施のはずでしたが、こちらは中止となる始末。そのような中での大会とあって、参加市民は悪戦苦闘のありさま、市民大会大回転競技では棄権が相ついで出てしまいました。

しかしそのような中で、次の方々

が大健闘し、見事優勝を果たしました。

第43回川崎市民スキー大会大回転競技

女子の部	山内康子(東芝)	タイム	54" 28
男子Fの部	田中正諳(いすゞ)		58" 00
Eの部	井上文男(東芝)		52" 29
Dの部	佐野正治( )		51" 78
Cの部	津田邦男( )		49" 49
Bの部	大沢 滋(日通工)		49" 66
Aの部	岡 雅季( )		54" 97

第33回川崎市実業団対抗スキー大会団体対抗

アルペンの部	東芝 得点	144
ノルデックの部	東芝	# 231
リレー競技	東芝Aチーム	タイム 57' 18
クロスカントリー壮年の部	佐藤一夫(東芝)	11' 48"
リレー競技 成年の部	岡田戒(東芝)	タイム 25' 49"
回転女子の部	山内康子(東芝)	52"910
# 壮年の部	星 勝義(東芝)	
# 成年の部	浦島秀明(NKK)	44"319
大回転女子の部	山内康子(東芝)	51"256
# 壮年の部	笠原慶一(川崎SC)	45"228
# 成年の部	立岩将浩(NKK)	43"699



編集後記

◎8年後の神奈川国体に向けて、県も市もいよいよ始動開始。市の総合体育館建設構想も本格的に纏まりそう。春の訪れも間近に……。 (左澤)

◎市民マラソンで、走り終わった直後にもかかわらず、インタビューに快く応じてくださったランナーの皆さん、ありがとうございました。(M)

◎川崎市民マラソンにランナーとして参加しました。市民マラソンも年々市民のための行事として定着しているのは嬉しい限りです。(小嶋)

—スポーツかわさき第27号 平成3年3月31日

—発行所—

〒210 川崎市川崎区宮本町6番地  
川崎市教育委員会体育振興課内

川崎市体育協会(電話044-200-3312)

編集 同広報委員会

委員長 左澤 重明(山岳協会)

委員 皆川 敏明(陸上競技協会)

# 谷口 浩(サッカー協会)

# 野口 始男(ハンドボール協会)

# 今村 貞(ラグビー協会)

# 小嶋 創(水泳協会)

# 小坂 末吉(バスケットボール協会)

# 菊地 政宣(卓球協会)

# 吉田 敏郎(事務局長)

# 小林 宏子(事務局員)

印刷 〒211 川崎市中原区宮内1461-2

秋田印刷有限公司(電話044-766-5650)